

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターゆめみっこ（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和7年11月15日		～ 令和7年12月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和8年1月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自己実現に向けて、特性を理解した専門性の高い支援	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しを持って安心して活動できるよう、本人に合わせた個別のスケジュールや課題の設定を視覚的なツールを用いて支援している。 ・「出来た！」の経験を重ねられるような課題設定や関わりを心がけている。 ・研修に参加して専門知識を習得し、職員間で共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部及び内部研修の参加を積極的に行う。 ・スタッフ間で情報を共有し、更に知識や情報を得て支援の向上をはかる。 ・新人研修強化の必要性
2	個別の支援及び保護者同伴による、手厚い支援と保護者のケアの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・その時その時にある子育てや発達の悩みについて、詳しくお話をうかがい対応策をご提案している。 ・その場でお応えしきれなかったことについては、上司や他スタッフに相談して情報を得てお伝えしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ個人の知識の向上や、情報の共有を継続・強化していき、より迅速に個々に合った支援や幅広い情報の提供が出来るようにする。
3	支援を通して、安心して入学式などの行事に参加することが出来る	<ul style="list-style-type: none"> ・通っている幼稚園等での様子を伺いながら、参加が難しい原因を探り解決策を一緒に考え支援している。 ・幼稚園、小学校等と連携し、入学にむけての情報共有や支援を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービスとの連携も更に重ね、入学後のケアについても検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同伴で利用時間が短い	<ul style="list-style-type: none"> ・特性に合わせた個別の療育で、対面学習も行っており、また、担当制という支援スタイルで相談援助も行っているため利用時間に影響が出ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズがあった際は、受け入れ可能か検討と調整をおこない柔軟に対応できるようにする。また、別日での相談時間の確保も考える。
2	職員の意見の吸い上げと業務改善の実現化が難しい	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングや他会議等で話をする機会はあるが、実際に検討や改善する時間や人手が足りない現状がある。 ・業務に関する報連相不足。 	<ul style="list-style-type: none"> ・直接支援以外の業務に関して、報連相を強化する。 ・報連相の時間や内容の明確化。 ・優先的課題や意見を明確にまとめ、運営委員会や理事会にあげて検討をお願いする。 ・新しい人材の確保と役割分担の工夫。
3	職員不足。また、一人が担当出来る人数が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性を求められる事もあり、人員不足。 	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる質の向上のための自己研鑽、研修の時間と機会の確保